

JOMF 派遣医師便り (2019.2)



2018 年暮れから

デング熱、インフルエンザ、マイコプラズマ感染症が鎮静化せず。

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

現在 2019 年 2 月初旬ですが、昨年暮れからインフルエンザ、マイコプラズマ感染症が鎮静化せず今に至っています。当地では例年これらの疾患は日本の夏（7～9 月）に流行していますが、今年は日本の冬に当たる今の時期にも多数の患者さんが受診しています。インフルエンザについてはワクチン接種をしていない方々の受診が多い印象です。いずれも発症当初の高熱のみを主訴に来院された患者さんがたくさんおられました。

この記事が掲載される 2 月末には流行が収束していることを期待します。これらの感染症は当地の公衆衛生的な問題だけでなく患者さん個人の生活習慣や免疫状態にも依存します。御心配なことがあればご相談ください。

皆さんお体大切になさってください。

（日本の夏期に当地で流行するインフルエンザに対するワクチン接種は 5～6 月に施行予定です）

記：この地区に限らず、犯罪や事故に巻き込まれないよう十分な注意が必要です。適切な準備・対策をとった上での行動が大切です。）